



# どっこいしょ

Dokkoisyo



2017.3.3 (金) 第24号

## 虹の足の中に



### 虹の足

雨があがって  
雲間から  
乾麺みたいに真直な  
陽差しがたくさん地上に刺さり  
行手に榛名山が見えたころ  
山路を登るバスの中で見たのだ、虹の足を。  
眼下にひろがる田圃の上に  
虹がそっと足を下ろしたのを！  
野面にすらりと足を置いて  
虹のアーチが軽やかに  
すくと空に立ったのを！

吉野 弘

その虹の足の底に  
小さな村といくつかの家が  
すっぽりと抱かれて染められていたのだ。  
それなのに  
家から飛び出して虹の足にさわろうとする人  
影は見えない。  
—— おーい、君の家が虹の中にあるぞオ  
乗客たちは頬を火照らせ  
野面に立った虹の足に見とれた。  
多分、あれはバスの中の僕らには見えて  
村の人々には見えないのだ。  
そんなこともあるのだろう  
他人には見えて  
自分には見えない幸福の中で  
格別驚きもせず  
幸福に生きていることが——。

中学2年生国語の教科書で最初に掲載されている詩です。作者は吉野弘さん。3年生の教科書にも吉野さんの「自分自身に」という詩が掲載されています。

カレンダーは3月になり、今年度の最後の月。3年生は卒業式まであと1週間となりました。各学年では送る会、卒業式に向けた取組や合唱練習が行われています。

♪ 勇気を翼に込めて 希望の風に乗れ この広い大空に 夢をたくして  
今 別れの時 飛び立とう 未来信じて  
弾む若い力信じて この広い この広い 大空に ♪

平成27年5月22日のお昼、市役所南、海沿いのペランダで空にまっすぐ横たわる変わった虹を見ました。その日のニュースによると関東地方や東海地方の広い範囲で“環水平アーチ”という特殊な虹の発見報告が相次いだようです。環水平アーチは薄い雲に虹のような光が浮かぶ現象のことで、22日の報告数は過去にも例がない程の数です。



東京から静岡、名古屋等の太平洋側で報告が多く、ツイッターでも話題のトレンドに入りました。なんと、明石でも見ることはできるのでは。

環水平アーチはとても綺麗な現象ですが、大地震の前触れとも言われているので、あまり手放しで喜べる現象ではないとのこと。中国の四川大地震でも同様の環水平アーチが激写されました。

ところで上記の詩ですが、総合学習の時間に練習している合唱練習を聞いていると、ふと思い出しました。皆さんは虹の中にいる人でしょうか？それとも、おーい、と呼びかける人でしょうか？

卒業を目前に控えた3年生のみなさん、一日一日を大切にしていこう。

# 虹

コウ、にじ  
虫（ハビの意）と音を表す工  
（コウ：横たわる意）とから  
なり、空に横たわる七色の竜  
のような「にじ」を表す。

### 高校でも卒業式

2月28日（火）は明石南、明石城西、明石北、明石商業の各高校で卒業式、3月1日（水）には明石、明石西、錦城高校（定時制）で卒業式がありました。

江井島中の校長として明石西高校と錦城高校の式に出席しました。

小学校や中学校の卒業式に比べるとシンプルな式ですが、3年間の高校生活に込められた思いは大切に貴重なものです。

明石西高で配布された卒業生の進路動向を見てみると、推薦・AO入試での国公立、私立を合わせた大学進学者が約230名程度、一般就職内定は10名程度、専門学校には50～60名といった状況でした。

新たな道に進んでいく高校生の前途には明るい未来が待ち受けていると信じていますね。

一方、夜に行われた定時制の錦城高校卒業式では、46名が卒業しました。年齢も様々です。その中で1名の女生徒が

「4年間皆勤賞」を受賞しました。すごいことです。大きな拍手が起こりました。